

2016.1 まちの誇り ぶち★ きらり

川棚相撲クラブ

ここでは小・中・高が連携して合同練習をするという、全国的にも珍しい形をとっています。

合同練習のメリットは大きく、お互いの相撲が刺激になるのももちろん、子供たちは敬語を使うようになり、先輩たちは模範となるように振る舞う傍ら、後輩の面倒も見るなど、お互いに良い存在となっているようです。藤本監督が重んじる「礼儀を大事にする」という姿勢が浸透しています。

大会後に見えてきた「これから」

今回、全日本小学生女子相撲大会の4年生以下の部(40キ未満級)で優勝に輝いた、川棚小学校4年生の久保田さん。女子の全国優勝は、同クラブで初とのこと。

監督の「負けてもいいから思いっきりやってこい」の言葉に勇気ももらい、上手投げで優勝を決めました。キャプテンを務める兄・修佑斗さんの影響で相撲を始め、今では「誇れるものができました。今後は今できないことができるように、もっと強くなりたいです」と元氣いっぱい話してくれました。

同大会の6年生の部(50キ未満級)



で準優勝を果たした川棚小学校6年生の濱川さん。「準優勝はうれしかったけど、決勝で負けたときは悔しかった」と悔しさをにじませましたが、この経験をばねに「全国優勝！」という目標に向け、一生懸命稽古に取り組んでいます。

全日本中学生女子相撲大会では、中学生超軽量級(50キ未満)で夢が丘中学校2年生の澤野さんが3位に入賞。「相撲のおかげで精神的に強くなりました。今後は全国優勝し、国際大会・世界大会にも出たいです」と、さらなる高みを目指しています。

できるまで 頑張る価値がある

「メンバーが増えてほしい」と言う濱川さんたちに相撲とクラブの魅力が聞くと、「練習は厳しいけど成果が出ると楽しい」「足も速くなると」「瞬発力も付く」「皆と仲良くなれる」「心も強くなる」と、次から次へと出てきて止まりません！

とても仲の良い相撲クラブ。練習になると、誰もが夢中になって練習しています。この先、どんなストーリーを見せてくれるのか、とても楽しみです。

細くても大丈夫！
一緒に楽しく
相撲を取りませんか？

毎週土・日曜日 10:00～12:30
問い合わせ先：藤本監督
(☎090-9463-2982)



実践を交えての指導。分かるまで取り組みます。



できるまで繰り返し、体で覚えます。

◀川棚相撲クラブの皆さん。久保田さんは後列一番左、濱川さんは後列左から2番目、澤野さんは後列右から2番目。



全国優勝目指して頑張っています！

クラブの設立は、約30年前の昭和62年。少年相撲をより強くしようという志が集い、藤本米和監督が当初から指導してきました。大相撲の立田川親方(元小結豊真将)や豊響関も、このクラブの出身です。相撲部屋に入ると、小学生から高校生までの20数人が練習の真ただ中。女子8人・男子7人の計15人が、響高校の相撲部6人、夢が丘中学校の相撲部5人の先輩たちと稽古に励んでいます。